

～萬屋薬局すこやかナビ～

くるみ

第20号

(2024年12月)

献血特集号



～萬屋薬局すこやかナビ～くるみの最新号
およびバックナンバー(全号)はウェブサイト
(ホームページ)からもご覧いただけます！
<https://www.yorozuya-yakkyoku.jp/>



企業献血十周年の記念事業として、一層の献血啓発を目的とした、川柳コンテストをスタートしたところですが、継続開催のご要望もいただいていたことから、昨年の第2回につづき同第3回コンテストを開催いたしました。

今年はテーマを「若者へのメッセージ」とし、献血に関する川柳を多くの皆様からご応募いただきました。そして先日、川柳選者等からなる選考会を開催し、約一カ月間で集まった皆様の川柳の中から各賞を決定いたしましたので、こちらで発表させていただきます。ご一緒にお楽しみください。

第3回 けんけつ川柳コンテスト 結果発表

萬屋薬局

最優秀賞

献血をする理由そこに多様性

あんずの次女

べっぴん川柳賞

してみねが 血の気が多い その君
古希になる 締め切り前の 人助け

きいろいトマト
ひろしです

熱血応援賞

16のぼくらもつなぐ 輸血の輪
献血ルームで 放課後にする 待ち合わせ

HS
のんちゃん

特別賞

献血をすると御飯がマジうまい

きいろいトマト

出血サービス賞

賞追加

機械では造れぬ若き 血潮かな
献血に 誰かの明日が 託される
16歳 ちよつと大人の ボランティア
いつの日か 戻ってくるよ 思いやり
受け継ぐよ 救える命 若い血で

KM

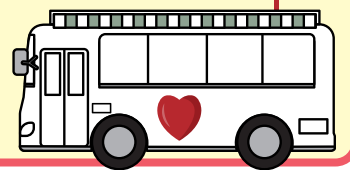
いせちゃん

ウィスキーマン

みるみる

MA

今回のテーマ
若者への
メッセージ



選者から

■様々な年代からの献血に対する思いの作品を楽しく拝見しました。最優秀賞は献血と今の時代における多様性を詠み込んだ秀句でした。べっぴん川柳・熱血応援・特別の各賞は「古希になる締め切り前」「血の気が多いその君」「16のぼくら」など献血年齢16～69歳を句の中うまく取り入れた、今回のテーマ「若者へのメッセージ」に沿った秀句でした。(山形県川柳連盟副理事長 太田祐子)

■寄せていただいた作品はどれも素晴らしいものでしたが、若年献血、多様性をキーワードに選ばせていただきました。献血は医療に欠くことのできない輸血の源。コンテストをきっかけに献血協力いただければ幸いです。(山形県赤十字血液センター 所長 鎌塚栄一郎)

■たくさん投稿ありがとうございました。今を表現したキーワードがたくさんあり、楽しく選ばせて頂きました。若者の献血に対する意識が高まりますよう、引き続き呼びかけていきたいと思えます。皆様のご協力よろしくお願致します。(萬屋薬局 中村妙子)

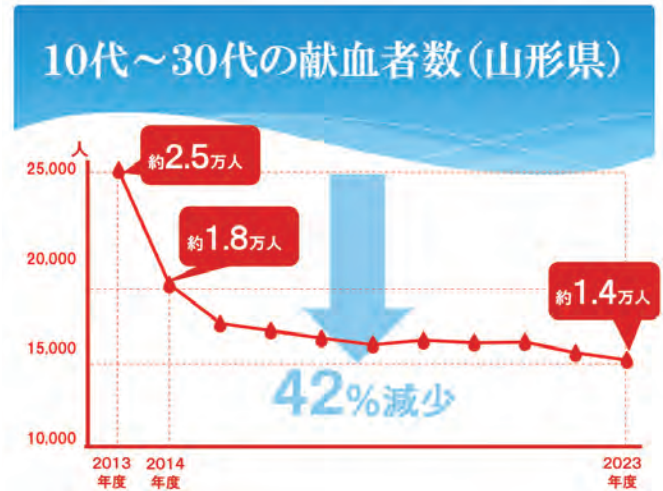
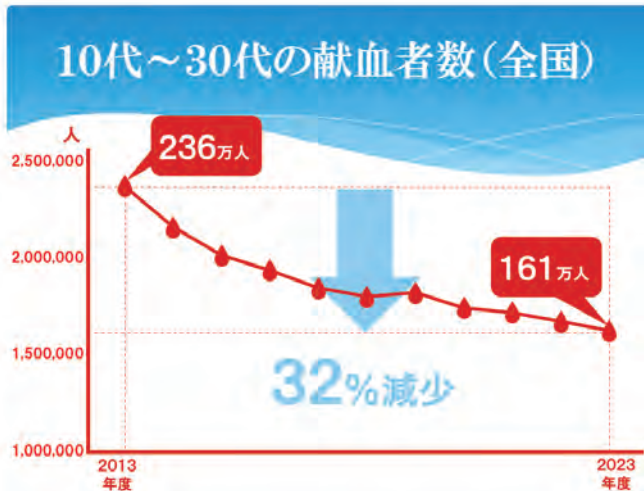
山形県における若年層の献血の現状と課題について

山形県赤十字血液センター

※全国と山形県の若年層減少割合の比較

～全国～

～山形県～

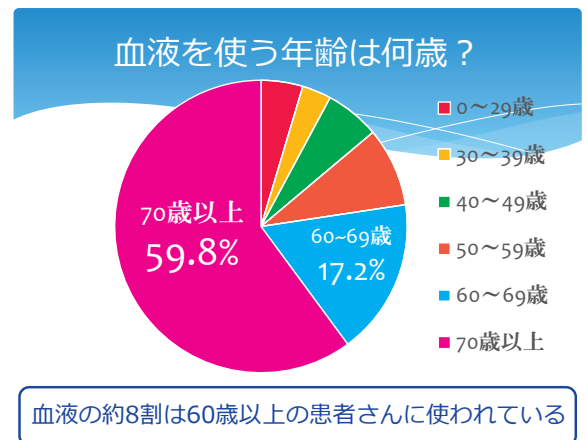


- 10代～30代の献血者は10年前と比較し、全国で約75万人（32%）減少しています。山形県においても同様に、残念ながら約1万1千人（42%）減少しています。若年層の献血離れが進行していく一方で、輸血を受ける方の高齢化が進んできております。理由の一つとして、近年日本人の二人に一人の割合で診断されるといわれる、「がん」の患者さんが増えてきたことです。

「がん」の患者さんが、輸血を必要とする理由として、抗がん剤治療はがん細胞を破壊していきますが、同時に正常な血液を造る細胞（造血幹細胞）も破壊されてしまいます。

そのため、血液を造ることができず貧血となってしまう、治療のため輸血が行われます。

今後、輸血を受ける患者さんが増え、献血の協力をしてくれる方が減少してしまうと、輸血用血液の安定供給に支障をきたす恐れが出てまいります。ぜひ、若いチカラで献血へのご協力をお願いいたします。



献血 ルーム
SAKURAMBO



山形市香澄町2-2-36（山形センタービル5階）
全血献血 9：00～12：30、14：00～17：00
成分献血 9：00～12：00、14：00～16：30

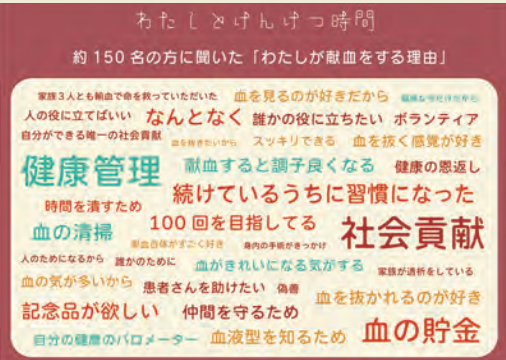
献血は「社会貢献」だけじゃない！ 十人十色の献血理由に着目したプロジェクト わたしとけんけつ時間



おおまち ももこ

東北芸術工科大学 デザイン工学部 企画構想学科4年 **大町 萌々子**

プロジェクトの きっかけと概要



コミュニケーションを生み出した 「けんけつの木」イベント



「広報誌『くるみ』」をご覧の皆様、初めまして。
東北芸術工科大学デザイン工学部 企画構想学科四年生
の大町萌々子と申します。私は17歳の頃から、記念
品やお菓子などの特典を楽しみに、献血を趣味として
楽しんでいました。しかし、この10年間で10～30
代の若年層の献血者は約33%も減少しています。そ
の現状にギャップを感じ、卒業制作で「わたしとけん
けつ時間」という若年層の献血者を増やすプロジェク
トを企画しました。調査を重ねていくうちに、献血を
する理由は「社会貢献」だけでなく、多様な意味合い
を持ち、特に複数回献血をしている方は、個性あふれ
る献血理由を持っていることがわかりました（上図参
照）。多様性のある献血をする理由に着目し、12月
中に、山形県献血ルーム SAKURAMBO で、イベン
トを行います。

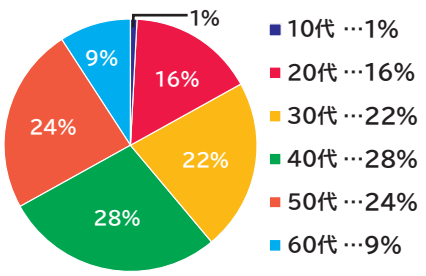
9月17日・18日に萬屋薬局で行われた企業献血
では、献血していただいた方の「献血をする理由」
をカラフルなしずくに書いていただき、木に貼って
「けんけつの木」を満開にさせる参加型イベントを
実施しました。「けんけつの木」を見て、自分と全
く違う献血をする理由に驚いたり、同行者の方と献
血の楽しさについて語り合う等、参加者の中で様々
なコミュニケーションが生まれていました。また、
けんけつの木も満開にさせることができました。

今後のイベントについて：多様性のある「献血をする理由」
をキャラクター化し、献血をしてくれた人にランダムカードと
して配布予定。イベント情報はinstagramで発信します。
instagram アカウント→@watashi_to_kenketsu

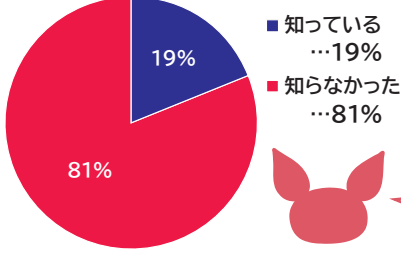
献血アンケート考察

萬屋薬局の献血来場者から回答いただいたアンケートから
抜粋してご紹介いたします（回答数151）

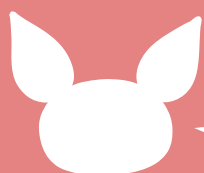
●あなたの年齢は？



●この10年間で山形県内における若年層(10～30歳代)の献血者が
40%以上減少していることをご存じですか？



萬屋薬局では20～30代の方が比較的
多く、なんと約4割。でも、若年層の
献血者数減少の事実が8割の方に認知
されていない！やはり、これからの
課題となりそうですね。



皆様のご協力で「企業献血 12周年」



私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

医療に欠かせない輸血用血液は人工的につくり出すことができません。また、生きた細胞ですので長い期間保存することもできず、絶えず誰かの献血が必要となります。

萬屋薬局では、平成 25 年から毎年、社員をはじめ、地域の皆さま、近隣の福祉施設や事業所など多くの方々のご協力をいただきながら、献血活動に取り組んでおり、12 周年を迎えました。これまで多くの方からお力添えを頂き、心から感謝申し上げます。

今年度は、9月17日、18日の2日間、六日町本店を会場に企業献血を行い、157名の皆さまから足を運んでいただき、献血へのご協力を頂戴いたしました。萬屋薬局では、今後も献血サポーターとして献血活動に取り組んでまいります。皆様のご協力よろしくお願いいたします。



東北芸工大学生とのコラボ

卒業制作「若年層と献血の距離を近づけるプロジェクト」に取り組んでいる東北芸術工科大学 デザイン工学部 企画構想学科 4年の大町萌々子さんに参加いただき、「パネル展示」「けんけつの木」を通し PR 活動を行っていただきました。(大町さんの特集は中面)



健康相談・栄養相談



待ち時間を有効活用し、店内相談コーナーにおいて「体組成測定」や管理栄養士による「栄養相談」、薬剤師による「健康相談」を実施いたしました。

薬膳中華ちまき

ご来場いただきました皆さまには、弊社オリジナルのお種人参の入った「薬膳中華ちまき」を提供させていただきます、大変高評でした。



御種人参入り

KAMPO STORY

漢方と生薬



どくじんとう ~独参湯~

中村医院 院長 中村 東一郎

独参湯はお種人参だけからなる漢方処方です。外傷による大出血や、重病からの回復期など、貧血や体力の著しい低下に用いられてきました。現代医学的にはショック状態に近いと考えられます。

漢方医学的には気虚の薬です。気虚の気とは生命のエネルギーを指し、虚とは欠乏の意味なので、気虚とは生命のエネルギーが衰えた状態を意味します。

また、そこまで激しい症状でなくても用いられ、現在のセルフメディケーションへの応用も可能です。効能は、疲労時や病後の体力の回復、胃腸機能の改善と食欲増進などです。血色の改善、免疫力アップによる抵抗力の増強などが期待できます。ただ、必要な時に使用するべきもので、漫然と服用するのは避けたいものです。

独参湯の入った薬膳中華ちまきで、献血後の心身回復にお役立てください。